



概要

倶知安町、ニセコ町、蘭越町、共和町からなるニセコリゾートエリアは、冬季を中心に外国人も多く訪れる国際リゾート地であるが、運賃体系の異なる様々なバスが運行されているなど、観光客にとってバスを利用しづらい状況にあることから、統一的な運賃体系への見直し、バス路線の見直し、バス停の整理・統合、情報提供の充実、QRコード・ICカードの活用等により、エリア内の公共交通の利便性向上を図る。

統一的な運賃体系への見直し(20~22年度)

・路線バス(ニセコバス・道南バス、距離制)、フリーパスポート号(距離制、全山共通リフト券利用者は無料)、湯めぐりバス(500円)、くっちゃんナイト号(無料)など、運賃体系が異なる様々なバスが運行されており、利用者に混乱を招いていることから、運賃体系の見直しを行う。

バス路線の見直し(20~22年度)

・特に夏季における昆布温泉・湯本温泉等へのアクセスの悪さ、JR倶知安駅・ニセコ駅等からの乗り継ぎの不便さを解消するため、実証運行等によりバス路線の見直しを行う。

バス停の整理・統合(20~22年度)

・バスごとに、同一場所で名称が異なる複数の停留所が設置されており、景観の悪化や利用者に混乱が生じているため、バス停の名称統一・ポールの統合等を行う。

情報提供の充実(20~22年度)

・インフォメーションセンターの開設、ガイドマップの発行等、特に急増する外国人観光客が利用しやすい環境整備に向けた情報提供の充実を図る。

QRコード・ICカードの活用(20~22年度)

・QRコード・ICカードを活用した乗車券システムの導入により利用状況等各種データの収集・分析を行い、今後の運賃体系・バス路線の見直しに活用する。



ニセコリゾートエリア地域公共交通活性化協議会 計画事業の取組状況

主な事業内容

協議会開催状況

3回開催

分科会等開催状況

WG7回開催

回数は、平成21年度末までの開催予定

リゾート交通の実証運行

・夏期の来場者の利便性を向上させるために夏期の周遊エリアでリゾート交通の実証運行
・使いやすいバス交通体系を目指し、冬期の広域エリアでリゾート交通の実証運行
・設備の充実
・設置されているバス停や案内表示の統一

公共交通の利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供

・交通マップ、ハンドブックの発行
・雑誌等の媒体を活用し利用促進を図る
・トラベルインフォメーションサービスの設置
・バスカードエリア内での多目的利用の推進
・スタンプラリー等イベント実施
・調査・研究等
・QRコードやICカードなどの各種データの収集・分析を行い、利用者利便の向上を目指す

実施状況

リゾート交通の実証運行

・夏期のバス運行
(自動車を使わずにバスや徒歩で楽しむ旅行を提案)
実施期間: 7月18日から11月3日まで実施
運行日: 7月18日~8月31日までは毎日
9月以降は土・日・月・祝日に運行
運行区間: JR倶知安駅 - 昆布温泉
便数: 1日4.5往復
・冬期のバス運行
(エリア全体の温泉や飲食店などの観光施設を楽しむ旅行の提案)
実施期間: 12月1日~3月31日(予定)
運行区間: JR倶知安駅 - ニセコグラン・ヒラフ、アンヌプリスキー場 - 湯本温泉

設備の充実

・バス停(ヒラフエールカムセンター前)などの整備を行い利用者の利便性を高めた
・夏バス運行車にラッピングを施す
公共交通の利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供
・マップ30,000部配付
・雑誌、媒体での情報提供
・トラベルインフォメーションを設置・運営(平成21年12月1日から平成22年3月31日まで3カ所)
・スタンプラリーの実施(平成21年12月1日から平成22年3月31日まで)
調査・研究等
・QRコードを記入した乗車券を使って、利用状況の把握とQRコードのチケットの実用性の検証

自己評価のポイント

・当該エリアのバス交通の利便性向上という目標を達成するために適切な事業であると判断される。
・夏期に運行したバスは、1便あたりの利用人数が採算ラインに対してかなり少ないことが課題。
・冬期のバスに関しては、旅行者の利用が大多数を占め、運行費用面での利用者の負担と地域としてのサービスのバランスが課題。

二次評価のポイント

一部事業の見直しを行い、関係者間の合意形成に向けた調整を確実に図るとともに、本格実施するにあたり解決すべき課題を精査するようアドバイスする。